

消防上下水道関係

(下水道局)

事業名	事業費	説明
河川整備	11億40万円 財源内訳 〔 国庫補助金 3,000万円 県補助金 3,000万円 市債 10億3,690万円 一般財源 350万円 〕	都市基盤河川改修 9,450万円 おがわらがわ 小河原川 普通河川改良 10億590万円 雨水排水施設の整備 7億5,890万円 国・県が整備する砂防えん堤から流れ出る雨水を安全に排水するための施設を整備する。 東区 8 か所 2億6,300万円 南区 2 か所 1,650万円 安佐北区 4 か所 1億2,660万円 安芸区 13か所 3億5,280万円 (スケジュール) 元～3年度 実施設計、用地取得、工事等 4年度 用地取得、工事等 5・6年度 用地取得、工事等 一般整備 2億4,700万円
土砂災害防止対策	130万円 財源内訳 〔 一般財源 130万円 〕	土砂災害ハザードマップの更新 県による土砂災害警戒区域等の見直しに伴い、土砂災害ハザードマップを更新する。 55小学校区

事業名	事業費	説明
急傾斜地崩壊防止対策	9億7,263万3千円	市施行事業 8億5,700万円
	財源内訳	安佐北区免出など27か所
	〔 国庫補助金 781万6千円 〕	県施行事業負担金 1億円
	県補助金 3億5,000万円	西区三滝本町二丁目など24か所
	市債 6億700万円	⑨ 住宅の防災・減災推進事業 1,563万3千円
	〔 一般財源 781万7千円 〕	住宅の基礎となる崖地の所有者等が擁壁の耐震性を向上させるなどの工事を行う場合に、必要となる経費を補助する。
		防災推進事業 563万3千円
		対象崖 ①耐震性のない人工崖 ②被災想定家屋が一戸以上 ③高さ2m超かつ勾配30度以上
		対象工事 既存擁壁への杭打ちなど耐震性を向上させる工事
		補助率 戸建住宅 23% 集合住宅 1／3
		限度額 戸建住宅 230万円 集合住宅 333万3千円
		減災推進事業 1,000万円
		対象崖 ①人工崖及び自然崖 ②被災想定家屋が一戸以上 ③高さ2m超かつ勾配30度以上
		対象工事 法面保護工事、被災した崖の復旧工事等
		補助率 1／2
		限度額 100万円

事業名	事業費	説明																																	
公共下水道整備	141億773万8千円 財源内訳 〔 国庫補助金 50億7,810万円 〕 企業債 79億2,360万円 負担金 4,282万6千円 一般会計出資金 10億6,321万2千円	下水道未整備地区の解消 6億2,030万円 管きょ布設 延長2,400m 福田、二葉の里、青崎、己斐、祇園、安佐、亀山、可部、狩留家、矢野、五日市、八幡地区 下水道による浸水対策 38億6,060万円 管きょ布設 38億5,680万円 延長3,810m 吉島、千田、矢賀、観音、祇園、五日市地区など17地区 ポンプ場整備 380万円 府中町施行ポンプ場整備事業負担金 下水道施設の改築 95億5,865万7千円 管きょ改築 29億4,934万1千円 延長11,520m 江波地区など26地区 ポンプ場、水資源再生センターの施設改築 66億931万6千円 千田水資源再生センターなど21か所																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>当初予算額</th><th>伸び率</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td><td>134億8,572万4千円 (12億6,623万5千円)</td><td>△12.7%</td></tr> <tr> <td>26</td><td>150億1,301万6千円 (11億8,228万7千円)</td><td>11.3</td></tr> <tr> <td>27</td><td>140億2,804万5千円 (11億5,046万9千円)</td><td>△6.6</td></tr> <tr> <td>28</td><td>144億2,987万円 (6億3,394万7千円)</td><td>2.9</td></tr> <tr> <td>29</td><td>139億9,635万9千円 (3億7,773万8千円)</td><td>△3.0</td></tr> <tr> <td>30</td><td>141億6,457万7千円 (4億8,690万3千円)</td><td>1.2</td></tr> <tr> <td>元</td><td>152億2,539万3千円 (4億5,768万4千円)</td><td>7.5</td></tr> <tr> <td>2</td><td>149億4,710万5千円 (4億1,438万5千円)</td><td>△1.8</td></tr> <tr> <td>3</td><td>137億2,658万円 (3億5,382万4千円)</td><td>△8.2</td></tr> <tr> <td>4</td><td>141億773万8千円 (5億300万7千円)</td><td>2.8</td></tr> </tbody> </table>			年度	当初予算額	伸び率	25	134億8,572万4千円 (12億6,623万5千円)	△12.7%	26	150億1,301万6千円 (11億8,228万7千円)	11.3	27	140億2,804万5千円 (11億5,046万9千円)	△6.6	28	144億2,987万円 (6億3,394万7千円)	2.9	29	139億9,635万9千円 (3億7,773万8千円)	△3.0	30	141億6,457万7千円 (4億8,690万3千円)	1.2	元	152億2,539万3千円 (4億5,768万4千円)	7.5	2	149億4,710万5千円 (4億1,438万5千円)	△1.8	3	137億2,658万円 (3億5,382万4千円)	△8.2	4	141億773万8千円 (5億300万7千円)	2.8
年度	当初予算額	伸び率																																	
25	134億8,572万4千円 (12億6,623万5千円)	△12.7%																																	
26	150億1,301万6千円 (11億8,228万7千円)	11.3																																	
27	140億2,804万5千円 (11億5,046万9千円)	△6.6																																	
28	144億2,987万円 (6億3,394万7千円)	2.9																																	
29	139億9,635万9千円 (3億7,773万8千円)	△3.0																																	
30	141億6,457万7千円 (4億8,690万3千円)	1.2																																	
元	152億2,539万3千円 (4億5,768万4千円)	7.5																																	
2	149億4,710万5千円 (4億1,438万5千円)	△1.8																																	
3	137億2,658万円 (3億5,382万4千円)	△8.2																																	
4	141億773万8千円 (5億300万7千円)	2.8																																	
(注)26年8月豪雨災害に係る復興事業を含む。 下段()書きは特定環境保全公共下水道の事業費を参考として表示している。																																			

事業名	事業費	説明
		合流式下水道の改善 6,818万1千円 管きょ布設 立坑工 千田地区
市街化区域外污水处理施設整備	6億5,861万3千円 財源内訳 〔 国庫補助金 2,610万円 企業債 4億9,670万円 負担金 4,686万円 一般会計出資金 8,895万3千円 〕	特定環境保全公共下水道整備 5億300万7千円 管きょ布設 3億3,994万2千円 延長2,070m 可部、安佐、大林、湯来、石内地区 ポンプ場、水資源再生センターの施設改築 1億6,306万5千円 杉並台調整槽、和田水資源再生センター 農業集落排水施設整備 8,490万9千円 管きょ布設 延長610m 戸山、白木、湯来地区 市営浄化槽整備 7,069万7千円 5人槽 9か所、7人槽 5か所、 10人槽 1か所

事業名	事業費	説明
流域下水道整備	2億1,340万2千円 財源内訳 [企業債 2億250万円 負担金 145万1千円 一般会計出資金 945万1千円]	県施行太田川流域下水道（瀬野川処理区）整備事業負担金 東部浄化センターポンプ更新工事など

(消 防 局)

事 業 名	事 業 費	説 明
消防団を中核とした地域防災力の充実強化	1,162万円	⑨ 消防団サポーター制度の創設 1,094万5千円 将来の消防団員の確保を図るため、活動を通じて若い世代に消防団への理解を深めてもらう消防団サポーター制度を創設する。 対 象 市内に居住又は通学する大学生、専門学校生 活動内容 大規模災害時の消防団員の後方支援、地域の防災訓練等への参加 対象者数 240人 (30人×8区) ⑩ 機能別団員制度の導入 67万5千円 平日日中の活動を担う消防団員を確保するため、原則として平日日中のみ活動する機能別団員を導入する。 対 象 OB消防団員、OB消防職員 活動内容 一般的な消防団員と同じ(危険性や体力的負担が少ない箇所を担当) 活動時間 月曜日から金曜日の概ね7時から18時までを想定 (報酬は人件費として別途計上)
	財源内訳 〔 国庫委託金 269万2千円 〕 〔 一般財源 892万8千円 〕	

事業名	事業費	説明
消防施設災害復旧	6,070万円 財源内訳 [市債 6,070万円]	消防団車庫の建替え 安芸消防団畑賀分団畑賀車庫 (スケジュール) 30・元年度 既存車庫解体等 2年度 測量、用地取得等 3年度 実施設計等 4年度 建設工事等
消防車両等の整備	6億5,723万5千円 財源内訳 [市債 6億3,050万円 負担金 418万円 一般財源 2,255万5千円]	高規格救急自動車 5台 1億5,800万円 水槽付消防ポンプ自動車 2台 8,040万円 中型消防ポンプ自動車等 8,444万9千円 消防艇 1艇 3億3,438万6千円 建造
消防庁舎の整備	6億8,848万3千円 財源内訳 [市債 6億7,270万円 一般財源 1,578万3千円]	消防署出張所の建替え 6億1,044万3千円 南消防署青崎出張所 建設工事等

事業名	事業費	説明						
		消防団車庫の建替え 7,774万円 中消防団竹屋分団車庫 7,564万円 建設工事等 西消防団己斐分団車庫 210万円 実施設計 (債務負担行為の設定) <table border="1"> <tr> <th>事業名</th><th>期間</th><th>限度額</th></tr> <tr> <td>西消防団己斐分団車庫建替え</td><td>5年度</td><td>30万円</td></tr> </table> 消防団車庫の耐震性の向上 30万円 中消防団広瀬本川分団車庫 耐震補強計画策定	事業名	期間	限度額	西消防団己斐分団車庫建替え	5年度	30万円
事業名	期間	限度額						
西消防団己斐分団車庫建替え	5年度	30万円						
消防訓練施設の整備	6,690万円 財源内訳 市債 5,980万円 一般財源 710万円	災害現場と同様の環境で各種災害対応訓練が可能な消防訓練施設を整備する。 整備場所 西風新都訓練場 整備施設 ブロック火災対応訓練施設						

(水 道 局)

事 業 名	事 業 費	説 明
配 水 施 設 整 備 事 業	84億3,565万円 財源内訳 [企業債 60億4,240万円] 自己財源 23億9,325万円	管路の更新 27億8,728万1千円 配水池及びポンプ所の更新・改良 その他 56億4,836万9千円
浄 水 施 設 整 備 事 業	14億2,904万4千円 財源内訳 [企業債 5億5,710万円] 自己財源 8億7,194万4千円	取水場及び浄水場諸施設の更新・改良 その他 牛田、緑井、高陽
水 道 施 設 災 害 復 旧	3,710万5千円 財源内訳 [国庫補助金 795万7千円] 企業債 2,340万円 自己財源 574万8千円	災害復旧工事 3 地区 安佐北区 1,908万2千円 高陽、白木地区 安芸区 1,802万3千円 瀬野川地区